

| | |
|-------------------|------|
| 教 科 | 受験番号 |
| 地理歴史 (日本史・世界史) | |

1 次の設問 (1) ~ (10) に答えよ。

- (1) 高校生のなおこさんは、興味をもったテーマについて、資料を集め、調べた内容をまとめた。下はそのまとめの一部である。(X) に当てはまる語句を①~④の中から、(Y) に当てはまる国名を⑤~⑧の中から、それぞれ一つずつ選べ。

【なおこさんのまとめ】 テーマ「各国における (X) の実現」

表から、第一次世界大戦のころに、(X) が実現した国がいくつかあることが分かる。第一次世界大戦のころに作成された資料を参考にして考えると、第一次世界大戦が総力戦であったことが、背景にあるのではないだろうか。

また、(Y) では、女性の (X) は 1945 年に実現している。このことは、西暦を参考にして考えると、第二次世界大戦と関係があるのではないだろうか。今後、これらのことについてさらに調べてみたい。

【表】各国における (X) の実現

| 国名 | 男性 | 女性 |
|-------|-------|-------|
| フランス | 1848年 | 1945年 |
| アメリカ | 1870年 | 1920年 |
| ドイツ | 1871年 | 1919年 |
| イギリス | 1918年 | 1928年 |
| (Y) | 1925年 | 1945年 |

【資料】女性に戦時協力を求めるポスター (左)

軍需工場で働く女性が描かれた図 (右)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① 海外移住 ② 普通選挙 ③ 義務教育 ④ 外貨の所有
 ⑤ 中国 ⑥ ソ連 ⑦ 日本 ⑧ インド

(2) 表は、人権に関する史料をまとめたものであり、史料A～Eは、権利の章典、アメリカ独立宣言、フランス人権宣言、ヴァイマル憲法、世界人権宣言のいずれかである。アメリカ独立宣言、フランス人権宣言は、史料A～Eのうちどれか。その組合せとして正しいものを、次の①～⑩の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① アメリカ独立宣言 = 史料 A フランス人権宣言 = 史料 B
- ② アメリカ独立宣言 = 史料 B フランス人権宣言 = 史料 C
- ③ アメリカ独立宣言 = 史料 C フランス人権宣言 = 史料 D
- ④ アメリカ独立宣言 = 史料 D フランス人権宣言 = 史料 E
- ⑤ アメリカ独立宣言 = 史料 E フランス人権宣言 = 史料 A
- ⑥ アメリカ独立宣言 = 史料 A フランス人権宣言 = 史料 C
- ⑦ アメリカ独立宣言 = 史料 B フランス人権宣言 = 史料 D
- ⑧ アメリカ独立宣言 = 史料 C フランス人権宣言 = 史料 E
- ⑨ アメリカ独立宣言 = 史料 D フランス人権宣言 = 史料 A
- ⑩ アメリカ独立宣言 = 史料 E フランス人権宣言 = 史料 B

(3) 表は、17 世紀から 19 世紀のおもな戦争に関する説明をまとめたものである。表中の「戦争に関する説明」の内容が誤っているものを、次の①～⑤の中から全て選べ。ただし、誤っているものがない場合は⑥を選べ。

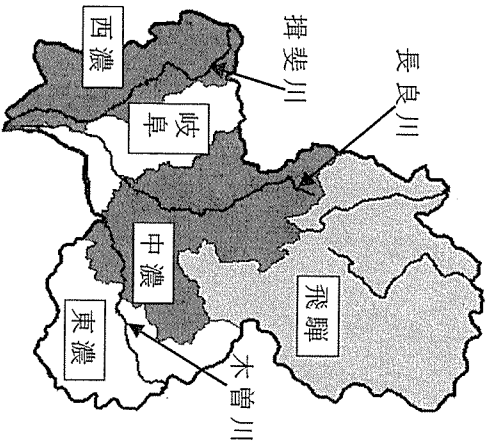
著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(戦争の名称、年号は、レスタール=R=アラウン『地球白書 1999-2000』より作成)

- | | | |
|----------|--------|------------------|
| ① 三十年戦争 | ② 七年戦争 | ③ フランス革命／ナポレオン戦争 |
| ④ クリミア戦争 | ⑤ 南北戦争 | |

- (4) 木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)の治水工事に関する記述について、地図、グラフ、資料1～4を参考にして、誤っているものを、次の①～④の中から全て選べ。

【地図】 岐阜県の地域と主な河川



美濃地方：岐阜、西濃、中濃、東濃
飛騨地方：飛騨

【グラフ】 西濃地域における水害回数推移

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(岐阜地方気象台編『岐阜県災異誌』より作成)

【資料1】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『岐阜の人物と生き方』)

【資料2】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「西高木家文書」)

【資料3】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『史料にみる岐阜県の歴史』)

【資料4】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『史料にみる岐阜県の歴史』)

- ① 17世紀前半、美濃地方の治水工事は一元的に強力には進まず、西濃の水害は増加傾向にあった。
- ② 宝暦3年、水害に悩まされてきた村々による治水工事の請願が幕府に聞き届けられたと考えられる。
- ③ 宝暦年間の薩摩藩による三川分流工事によって、その後100年の間に西濃の水害は半減した。
- ④ ヨハネス・デレーケらによる明治期の治水工事後、西濃の水害は減少した。

(5) 明治時代の日本の対外関係に関するできごとについての記述として誤っているものを、次の①～⑦の中から二つ選べ。

- ① 琉球漂流民殺害事件の後、日本は台湾に出兵した。その後、清国との間に、日本が外国と結んだ最初の対等条約となる日清修好条規を締結した。
- ② 江華島事件を機に、日本は朝鮮を開国させた。その後、日本優位の不平等条約である日朝修好条規を締結した。
- ③ 首相に就任した山県有朋は、甲午農民戦争の発生の後、朝鮮半島における利益線を重視する施政方針演説を行った。
- ④ 日本は、日清戦争において黄海海戦で清国を撃破し、威海衛を占領した。戦いは日本の勝利に終わり、その後、講和条約として下関条約を締結した。
- ⑤ ロシア軍が北清事変後も満州への駐留を続けていた事などから、日本はイギリスとの間に日英同盟協約を締結した。
- ⑥ 日本は、日露戦争において日本海海戦でロシアの艦隊を打ち破った。その後、アメリカ大統領の斡旋により、講和条約としてポーツマス条約を締結した。
- ⑦ 日本は、ハーグ密使事件を機に、第三次日韓協約を結び韓国内政権を手に入れた。その後、韓国併合に関する条約を締結した。

(6) 戦後日本の経済や財政の動向に関する記述について、1965～74年に起きたできごととして正しいものを、次の①～⑩の中から二つ選べ。

- ① 朝鮮戦争が始まると、日本での軍需物資の調達が始まり、特需景気がおこった。
- ② 池田内閣は、10年間で実質国民所得をほぼ2倍にする「所得倍增計画」を閣議決定した。
- ③ 中曽根内閣は大型間接税の導入に失敗したが、竹下内閣は消費税の導入を実現した。
- ④ テレビ放送が開始され、白黒テレビの普及率が初めて50%を超えた。
- ⑤ アメリカの危機的な国際収支を受けたヨーロッパ諸国が、自国通貨をドルに対して切り上げたことへの対応を迫られた日本は、変動為替相場制に移行した。
- ⑥ プラザ合意前に1ドル240円台だった相場が、2年後に1ドル120円台に上がった。
- ⑦ 第四次中東戦争が勃発すると、日本では狂乱物価によるパニックが発生した。
- ⑧ 日本経済は、第二次石油危機を金融引締めによって乗り切り、安定成長の軌道に入った。
- ⑨ 経済安定九原則を実行するため、デトロイト銀行頭取のドッジが来日することになった。
- ⑩ 金融機関や企業においてだぶついた資金が市場に流入し、地価や株価が高騰するバブル経済がおこった。

(7) 次の地図や地理情報に関する記述について、下線に誤りを含むものを、①～⑥の中から全て選べ。ただし、全て正しい場合は⑦を選べ。

地図には、地表の事象を縮尺に応じて網羅的に表現し、様々な用途に用いられる一般図と、事象を取捨選択して特定の主題を取り上げた主題図がある。

一般図には、国土地理院発行2万5千分の1地形図があり、①正積図法の一種であるユニバーサル横メルカトル図法によって作成されている。②2万5千分の1地形図では、50mごとに描かれた計曲線と、10mごとに描かれた主曲線によって地形の起伏や傾斜が示されている。

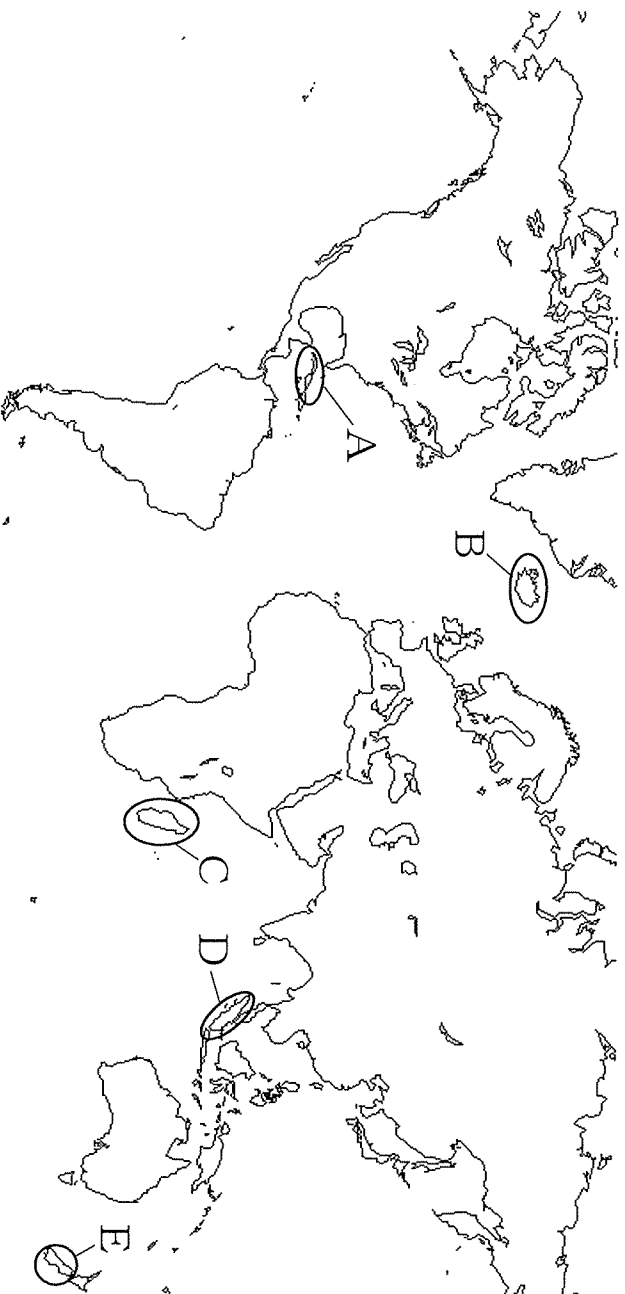
主題図には、統計数値を用いて数量や分布を示した統計地図があり、目的に応じて様々な地図が作成されている。③地域を等面積の網目に区切り、各網目を単位として統計データを地図化した階級区分図や、線の太さ等で絶対量や移動の方向を示す流线図、

④統計データを分かりやすく効果的に示すために、元の地図を変形させた図形表現図などもある。

近年は、地理情報システムの利用も進み、⑤GPSなどに代表される緯度・経度などの位置情報を得ることのできる全球測位衛星システムや、⑥地上から離れたところから陸上・海洋・大気等の現象を観測・探査するリモートセンシング等で得られた情報と様々な統計データを重ね合わせたデジタル地図も作成され、広く用いられている。

- (8) 地図中に○で示されたA～Eの島についての記述として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

【地図】



- ① Aは、島全体が年間を通して熱帯収束帯（赤道低圧帯）の下に入るためAf気候となる。また、プレート同士が水平方向にずれることで形成されたサンアンドレアス断層が見られる。
- ② Bは、島全体が寒冷で樹木が生育しないEF気候である。また、島の中央を縦断するプレートの広がる境界に沿って火山が分布している。
- ③ Cの東岸は、貿易風によって年間を通して高温で湿潤なAf気候となる。また、プレートの広がる境界上であり、アメリカ大地溝帯が島の南北を縦断している。
- ④ Dは、年間を通して熱帯収束帯（赤道低圧帯）の影響下にあるため、山岳部を除いてAf気候となる。また、プレートの狭まる境界に位置する弧状列島を構成する1つである。
- ⑤ Eは、沿岸を流れる暖流と偏西風の影響を受けることで、島全体がCfa気候となる。また、プレートの狭まる境界に位置し、環太平洋造山帯の一部を形成している。

(9) 自然災害に関する記述 X ~ Z について、その正誤の組合せとして正しいものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。

X 低平な沿岸部では、台風が接近すると、気圧が低下したり湾の奥に海水が吹き寄せられたりすることによって海面の水位が上昇する高潮の被害を受けることがある。

Y 河川の中下流域などに見られる氾濫原では、大雨などにより河川の水量が著しく増加すると、河川の水が流出する内水氾濫が発生する。

Z 複雑な海岸線をもつリアス海岸の湾奥の地域では、海溝型地震が発生して狭い入り江に津波が押し寄せると、高い波となりやすい。

- | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|
| ① | X = 正 | Y = 正 | Z = 正 | ② | X = 正 | Y = 正 | Z = 誤 |
| ③ | X = 正 | Y = 誤 | Z = 正 | ④ | X = 正 | Y = 誤 | Z = 誤 |
| ⑤ | X = 誤 | Y = 正 | Z = 正 | ⑥ | X = 誤 | Y = 誤 | Z = 正 |
| ⑦ | X = 誤 | Y = 正 | Z = 誤 | ⑧ | X = 誤 | Y = 誤 | Z = 誤 |

(10) 次の表 1、表 2 は、日本における、1970 年と 2018 年の韓国、マレーシア、ブラジル、オーストラリアからの主な輸入品の上位 3 品目の割合を示している。マレーシアからの主な輸入品の上位 3 品目の割合を示すものを、1970 年は表 1 の①～④の中から、2018 年は表 2 の⑤～⑧の中から、それぞれ一つずつ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『数字でみる日本の 100 年』より作成)

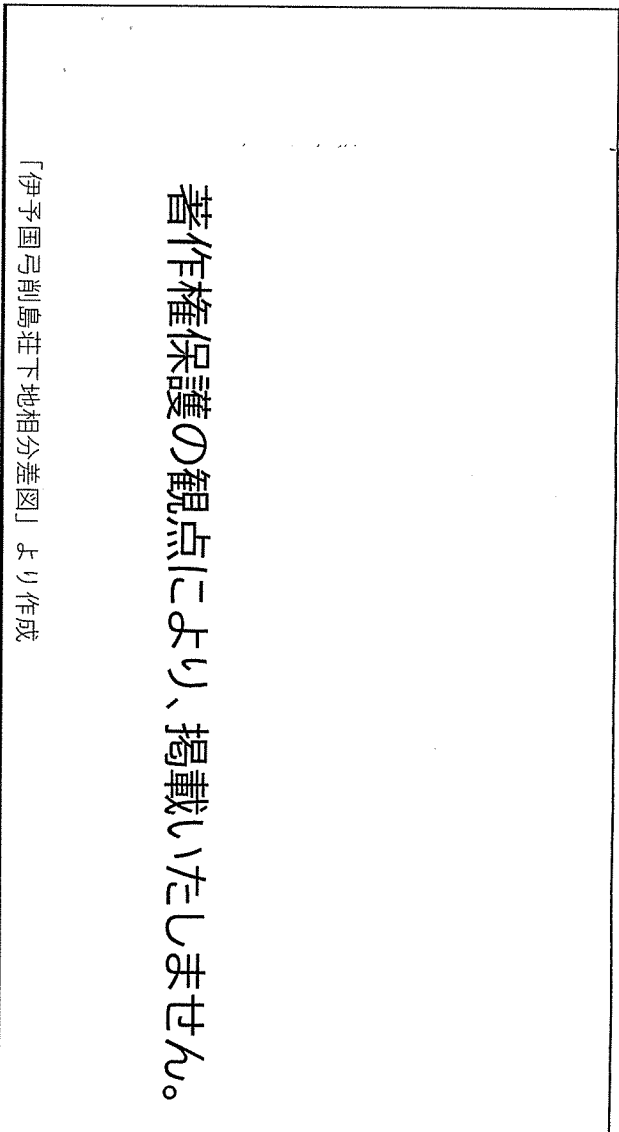
2 次の設問(11)～(25)に答えよ。

(11) 紀元前3世紀から紀元後3世紀の間の日本に見られた社会・文化の特徴として適切なものを、次の①～⑥の中から二つ選べ。

- ① 邪馬台国には大人と下戸の明確な身分差があったことが「魏志」倭人伝に記載されている。
- ② 細石刃を木や動物の骨などでつくった軸の側縁の溝に何本か並べて埋め込んだ細石器と呼ばれる組合せ式の石器の使用が始まった。
- ③ 祭祀において銅鐸、銅矛・銅戈、平形銅剣などの青銅製の祭器の利用が始まり、特定の地域において共通の祭器を用いた地域圏が見られるようになった。
- ④ 気温上昇などを背景に、動物群がニホンシカやイノシシなどの中型獣からナウマンゾウなどの大型獣に変化したため、弓矢を使用した狩猟が行われるようになった。
- ⑤ 人々の一般的な埋葬方法は、周囲に土器や埴輪を並べた墳墓の石室内に、遺体の手足を折り曲げて葬る屈葬と呼ばれるものであった。
- ⑥ 儒教の影響を受け、けがれをはらう禊、災いから逃れるための祓、鹿の骨を焼いて吉凶を占う太占の法などの風習が行われた。

(12) 図は、14世紀頃の伊予国弓削島荘の支配区分を模式的に示したものである。図に示されたような荘園支配の方法について説明した史料として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

【図】



【史料】

| | | |
|---|-----------------------|-----------|
| ① | | 『類聚三代格』 |
| ② | | 〔東大寺文書〕 |
| ③ | 著作権保護の観点により、掲載いたしません。 | 〔東寺百合文書〕 |
| ④ | | 〔金剛三昧院文書〕 |
| ⑤ | | 〔百鍊抄〕 |

(13) 11世紀から16世紀の日本の政治に関する記述として誤っているものを、次の①～⑦の中から二つ選べ。

- ① 白河上皇・鳥羽上皇・後白河上皇による約1世紀に渡る院政期には、院庁から下される文書である院庁下文や、上皇の命令を伝える院宣が権威をもつようになった。
- ② 安徳天皇が即位すると、平清盛は外戚として権勢を誇った。平氏一門は、その経済基盤として数多くの知行国と500余りの荘園を所有するなど、その政権の基盤は著しく摂関家に似ていた。
- ③ 富士川の戦いの後、源頼朝は、侍所に御家人を統制させるとともに、京都に六波羅探題を設置して朝廷や院の動向を監視して幕府の権威を確立した。
- ④ 源頼朝の後を受け継いだのは嫡子源頼家であったが、北条時政ら宿老とよばれる有力御家人たちは頼家の活動を制限し、宿老13人の話し合いによる政治運営である13人の合議制をはじめた。
- ⑤ 蒙古襲来後の鎌倉幕府では、北条氏の躍進とともに北条氏の家臣の地位が向上し、特に得宗家の家臣である御内人が、有力御家人に代わり幕府政治に関与し、御家人の代表者が政治に関与することが減って、得宗と得宗を支える一門・御内人による得宗専制政治が確立した。
- ⑥ 鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇は、天皇政治の理想的時代といわれた醍醐・村上天皇の治世を模範として建武の新政を行い、武士の地方支配の中心であった守護は廃止された。
- ⑦ 戦国大名は富国強兵のための新しい体制をつくることにつとめ、領国支配の基本法である分国法(家法)を制定したり、新たな征服地で自己申告方式による指出検地を行った。

(14) 表は、近世における政策を記した史料とその説明を示している。史料に関する説明として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選べ。ただし、誤っているものがない場合は⑤を選べ。

| 安定策 | 史料 | 史料に関する説明 |
|--------|--|--|
| ① 武家統制 | ●1615年 武家諸法度(元和令) 一 文武弓馬ノ道、専ラ相嗜ムベキ事。 ●1683年 武家諸法度(天和令) 一 文武忠孝を励し、礼儀を正すベキ事。 | 1615年に金地院崇伝によって起草された武家諸法度により、幕府は大名を厳しく統制した。一方、1683年の天和令では、平和な時代の支配論理となった儒教の影響が色濃くみられた。 |
| ② 外交政策 | ●1587年 バレレン追放令 一 日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、太以て然るべからず候事。 ●1639年 寛永十六年令 …自今以後、かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖。 | 豊臣秀吉の政権下では、宣教師を追放する政策をとったものの、南蛮船の来航は拒まず、商売を続ける政策をとった。江戸幕府も当初は活発な海外貿易を行ったが、寛永16年にはポルトガルの商船の来航も禁ずることになった。 |
| ③ 土地政策 | ●1590年 太閤検地 山のおく、海ハろかいのつき候迄、念を入るべき事專一に候。 ●1643年 田畑永代売買の禁令 …向後田畠売買停止為るべき事。 | 豊臣秀吉は検地の徹底により、土地所有者の把握に基づく石高制を確立した。江戸幕府は、年貢・諸役の徴収を確実にするため、本百姓の没落を防ぐ土地政策を行った。 |
| ④ 農民統制 | ●1588年 刀狩令 一 百姓は農具さへもち、耕作専に仕候へハ、子々孫々まで長久に候。 ●1673年 分地制限令 一 名主、百姓、田畑持候大積り、名主式拾(二十)石以上、百姓は拾(十)石以上、それより内ニ持候者は石高猥りに分ケ申間敷旨…。 | 豊臣秀吉は刀狩により農民から武器を取り上げて兵農分離を推し進め、農民に一揆を起こさせないよう統制した。一方、17世紀後半期の江戸幕府は、農村経営を安定させるために大規模な商品作物栽培を盛んにすることで貨幣経済の浸透を図る方針に転換した。 |

(15) 表は、江戸時代における幕政の三大改革及び田沼の政治をまとめたものである。下線が誤っているものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。ただし、誤っているものがない場合は⑨を選べ。

| 改革・政治名 | 実施した政策等 |
|--------|---|
| 享保の改革 | <ul style="list-style-type: none"> ・人材登用を目的に、在任中の役高の不足分を加増する足高の制を実施した。 ・<u>① 訴訟の増加に対処するため、金銀貸借訴訟を受け付けない相対済し令を出した。</u> ・幕府の収入増加策として、大名から石高1万石につき100石を上納させる上げ米を実施した。 ・<u>② 判例に基づく合理的な司法判断を行うため、裁判や刑罰の基準として公事方御定書を制定した。</u> |
| 田沼の政治 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>③ 運上や冥加などの増徴を図るため、株仲間を積極的に公認した。</u> ・年貢収入の増加のため、印旛沼・手賀沼の干拓工事を実施したが、利根川の大氾濫で挫折した。 ・<u>④ 金を中心とする貨幣制度に一本化するため、計数貨幣で使うのに便利な銀貨を大量に鑄造した。</u> ・凶作等に備える農村復興策として、社倉・義倉を設置した。 ・<u>⑤ 農村人口の減少を防ぐため、百姓が離村して江戸の住民になることを禁ずる人返し<small>（ひがし）</small>の法を出した。</u> ・江戸の無宿人に技術を身につけさせるため、江戸石川島に人足寄場を設置した。 ・<u>⑥ 経済的に困窮した旗本・御家人を救済するため、棄捐令を出した。</u> |
| 寛政の改革 | <ul style="list-style-type: none"> ・深刻な物価騰貴は、株仲間が商品流通を独占し、物価の不正な操作を行っていることが原因であるとして、株仲間を解散した。 ・<u>⑦ イギリスが通商要求のため軍艦を派遣する計画があるという情報</u>がもたらされ、異国船打払令を緩和する天保の薪水給与令を出した。 ・<u>⑧ 江戸・大坂周辺を直轄地としようとして上知<small>（じち）</small>令を出したが、諸大名や旗本が強く反発したため実施できなかった。</u> |
| 天保の改革 | |

(16) 近代における日本の産業に関する記述X～Zについて、明治時代の産業に関する略年表と1885年、1899年、1913年の品目別の輸出入品の割合を示した表を参考にして、その正誤の組合せとして正しいものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。

【略年表】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『詳説日本史図録』より作成)

【表】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『日本貿易精覧』より作成)

(注) 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

X 日清戦争の前には大阪紡績会社や鐘淵紡績会社などの紡績会社が設立され、綿糸の生産量が輸入量を上回った。一方で、養蚕業を基盤に発展した製糸業によって生産された生糸は、日本の主要な輸出品であった。

Y 日清戦争後から日露戦争開戦までの間には、国内の紡績業が発展し、綿糸の輸出量が増加した。一方で、外貨の獲得においては、輸入原料を使用する紡績業に対し、国産の原料を使用する製糸業の貢献度が高かった。

Z 日露戦争後にドイツの技術を導入した官営八幡製鉄所が操業を開始し、中国からの鉄鉱石と国産の石炭を原材料とした鉄鋼生産が行われた。一方で、日本の主要な輸出品は生糸や綿糸などの軽工業製品であった。

- | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|
| ① | X = 正 | Y = 正 | Z = 正 | ② | X = 正 | Y = 正 | Z = 誤 |
| ③ | X = 正 | Y = 誤 | Z = 正 | ④ | X = 正 | Y = 誤 | Z = 誤 |
| ⑤ | X = 誤 | Y = 正 | Z = 正 | ⑥ | X = 誤 | Y = 正 | Z = 誤 |
| ⑦ | X = 誤 | Y = 誤 | Z = 正 | ⑧ | X = 誤 | Y = 誤 | Z = 誤 |

(17) 1910年代から1950年代の政党及び政党政治に関する記述ア～キを、年代の古いものから順に並べた時、3番目と6番目に当たるものの組合せとして正しいものを、次の①～⑩の中から一つ選べ。

| | |
|---|--|
| ア | 一党一党の強力な全体主義的国民組織をつくりあげようとする新体制運動がにわかには活発になった。社会大衆党が真先に解党してこの運動に加わったのははじめ、立憲政友会各派、立憲民政党反主流派などの既成政党がつぎつぎ解散した。 |
| イ | 元老たちは衆議院第一党である立憲政友会総裁の原敬を後継の首相に推薦し、政党内閣の原内閣が成立した。原は、爵位をもたず、藩閥政治家でもなく、日本で初めて衆議院に議席をおく内閣総理大臣であった。 |
| ウ | 海軍大将齋藤実は、軍部・貴族院・官僚勢力・政党から閣僚を選び、挙国一致内閣を発足させた。こうして「憲政の常道」として8年間続いた政党内閣は終止符を打った。 |
| エ | 清浦奎吾が貴族院・官僚勢力を基礎に内閣を組織したが、立憲政友会・憲政会・革新倶楽部は、これを立憲政治に背を向けた特権階級による超然内閣とみなして護憲三派を結成し、第二次護憲運動が開始された。 |
| オ | 社会党は左派と右派が再統一し、同じ年に、保守系政党では、保守合同により自由民主党が誕生した。こうして保守勢力が議席の3分の2弱を、革新勢力が約3分の1をわけ合う態勢が成立した。 |
| カ | 相次ぐ民主的改革のなかで、政党もつぎつぎと復活または結成された。最初に日本共産党が合法活動を開始し、旧無産政党を糾合して日本社会党が結成された。続いて保守系の日本自由党と日本進歩党、中道の日本協同党が結成された。 |
| キ | 立憲政友会の尾崎行雄、立憲国民党の犬養毅らの政党政治家や新聞記者団・商業会議所に集結する商工業者などが中心となり、「閥族打破・憲政擁護」のスローガンを掲げた憲政擁護運動が始まった。 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| 3番目 | ア | ア | イ | イ | ウ | ウ | エ | エ | キ | キ |
| 6番目 | エ | カ | ア | カ | オ | カ | ウ | カ | オ | カ |

(18) 「海の道」の歴史に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から全て選べ。

- ① 『後漢書』には、ローマ皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスの使節が、南海の物産を持って海路で日南郡(現ベトナム中部)に到着し、洛陽へ赴いたと記述されている。
- ② 唐僧の義浄は、往復海路でインドへ赴き、ナーランダー僧院で学び、帰国後仏典を漢訳した。著書『南海寄帰内法伝』には、シュリーヴァイジャヤ王国の繁栄の様子が描かれている。
- ③ 宋の時代には、中国を中心とした朝貢関係は衰えたが、東アジア諸地域間の民間交易はかえって活発となり、銅銭や陶磁器などの交易によって広州・泉州・明州などの港が繁栄した。これらの港には市舶司がおかれて、海上交易を管理した。
- ④ モロッコ生まれのイブン=バットウータは、メッカ巡礼を皮切りに、のち海路で中国に旅した。彼は帰国後、口述筆記によるギリシア語の『エリュトウラー海案内記』を残した。
- ⑤ ヴァヌコ=ダ=ガ=は、スペイン王の命により、インド航路開拓を目指してリスボン港を出港し、西まわりでインド東岸のカリカットに到達し、インド航路開拓に成功した。のちにカリカットからは、胡椒・インド絹織物などがさかんに輸出された。

(19) 遊牧民と中国の関係に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から全て選べ。

- ① 匈奴の冒頓単于は、西では月氏を攻撃して中央アジアのオアシス地方を勢力下におさめ、東では前漢を圧迫した。前漢の高祖は匈奴に敗れて、和親策をとった。
- ② 北魏の孝文帝は、均田制や三長制をしいて農耕社会の安定につとめ、また平城から洛陽に都を移し、鮮卑の服装や言語を禁止するなど積極的な漢化政策をうち出した。しかし、これらの政策に反発する軍人の反乱をきっかけに北魏は東西に分裂した。
- ③ 安史の乱は、ウイグルの援軍を得て鎮圧された。その後、ウイグルと同盟を結んだ中央政府の統制力は強まり、皇帝が有力な節度使から地方の行政・財政の権力を奪い、皇帝独裁の基盤がより強固なものとなった。
- ④ 契丹は五代の後晋の建国をたすけた代償として燕雲十六州を領土に加え、宋の成立後も華北に侵入した。のちには、宋が毎年多額の銀や絹を契丹におくことを条件に和議を結んだ。
- ⑤ ツングース系の女真は、完顔阿骨打が独立して国名を金と称した。宋は金と結んで遼(契丹)を攻め、金の攻撃によって遼は滅んだ。遼の滅亡後、金は宋と領土をめぐって争い、華北に侵入して宋の都開封を占領した。

(20) 14世紀初めから北半球で寒冷な気候が続き、各地で不作や飢饉がおこって政情不安になり、さらに交易ネットワークを通じてペスト(黒死病)がユーラシア西方に拡大した。14世紀の世界に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から全て選べ。

- ① 日本では、鎌倉幕府が倒れて南北朝が対立した。この南北朝の対立は、足利義満が室町幕府の3代將軍になる頃にしまい、足利義満は南朝と交渉して、南北朝の合体を実現した。
- ② 中国では、長江中流域の湖広が新たな穀倉地帯となり、「湖広熟すれば天下足る」と称せられた。税の納入も銀でおこなわれるようになり、各種の税や徭役を銀に一本化して納入する一条鞭法の改革が実施された。
- ③ フラツカ王国は、明が鄭和を数回にわたってインド洋地域へ遠征させた際の重要な拠点となったことから国際交易都市として大きく発展し、明のうしろ楯を得てタイのタウングー(トウングー)朝への従属から脱した。
- ④ 中央アジアでは、チャガタイ=ハン国が東西に分裂し、西チャガタイ=ハン国出身のタイムールはタイムール朝を開き、西トルキスタンを統一した。
- ⑤ 百年戦争が行われていた西ヨーロッパでは、農奴制の廃止などを要求する大規模な農民一揆であるフランスのジャックリーの乱やイギリスのワット=タイラーの乱がおこった。

(21) インドの独立運動では、イギリスの分断政策の影響もあり、ヒンドゥー教徒とムスリムの対立が問題となったが、一方でこの2つの勢力が歩み寄ろうとする姿勢もあった。資料A～Cは、当時のインドの状況を読み取ることができる資料である。インドの独立に向けて、この2つの勢力が歩み寄ろうとする姿勢があったことを読み取ることができる資料の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。ただし、該当するものがない場合は⑤を選べ。

【資料A】 ラクナウー協定 (1916年に、インド国民会議派と全インド=ムスリム連盟が結ぶ)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『世界史史料 10』より作成)

【資料B】 1916年のムスリムの人口比率とラクナウー協定でのムスリム議員枠

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『世界史史料 10』より作成)

【資料C】 アンベードカル (インドの政治家) が会談 (1931年) でガンデーに語った内容

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『アンベードカルの生涯』より作成)

- ① 資料A、B ② 資料A、C ③ 資料B、C ④ 資料A、B、C

(22) 年表は、第一次世界大戦以降の日本と世界のできごとについてまとめたものである。Xの期間におきたできごとを①～③の中から、Yの期間におきたできごとを④～⑥の中から、それぞれ全て選べ。

【年表】

| 世紀 | できごと |
|----|--|
| 20 | <p>チェコスロヴァキア軍救援を名目として、シベリアへの出兵を決定する <input type="checkbox"/> X <input type="checkbox"/></p> <p>柳条湖の鉄道爆破事件を口実に、関東軍が中国東北地方の大半を占領する 真珠湾のアメリカ海軍基地を攻撃する ポツダム宣言を受諾する</p> <p>日本の国際連合加盟が承認される <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/></p> <p>日中平和友好条約を調印する</p> |

- ① アメリカのニューヨーク株式市場で、株価が大暴落する（「暗黒の木曜日」）
- ② 四カ国条約が結ばれ、これにより日英同盟が解消される
- ③ アメリカのマッキンリー大統領が米西戦争をおこす
- ④ アメリカのジョンソン政権が北ベトナムへの爆撃（北爆）にふみきる
- ⑤ 朝鮮民主主義人民共和国が大韓民国へ侵攻し、朝鮮戦争が始まる
- ⑥ イラクのフセイン政権がクウェートに侵攻する

(23) 現代のパレスチナ問題に関する記述 (a) ~ (c) が、古いものから年代順に正しく並べられているものを、次の①~⑧の中から一つ選べ。

(a) エジプトのサダト大統領が暗殺されたが、後継のムバラクがその政策を引き継ぎ、イスラエルからシナイ半島の返還を実現させた。

(b) OPECがイスラエルの友好国に石油の全面禁輸を宣告し、急激な物価高と世界的不況がまん延したことを背景に、第1回の先進国首脳会議が開催された。

(c) イスラエルのラビン首相とパレスチナ解放機構のアラファト議長は話し合いによる解決をめざし、アメリカ大統領クリントンを仲介として相互承認、パレスチナ人の暫定自治政府の樹立で合意した。

- ① (a) → (b) → (c) ② (a) → (c) → (b)
③ (b) → (a) → (c) ④ (b) → (c) → (a)
⑤ (c) → (a) → (b) ⑥ (c) → (b) → (a)

(24) 現代の中国に関する記述 (a) ~ (d) が、古いものから年代順に正しく並べられているものを、次の①~⑧の中から一つ選べ。

(a) 「四人組」が逮捕され、その後、鄧小平を中心にした新指導部が成立した。

(b) チベット仏教の指導者ダライ=ラマ 14世がインドへ亡命した。

(c) イギリスから香港が返還された。

(d) 共産党の一党支配の持続などへの不満から、学生・知識人らが天安門広場に集まり民主化を要求したが、政府はこれを武力でおさえ、趙紫陽総書記を解任した。

- ① (a) → (b) → (c) → (d) ② (b) → (c) → (d) → (a)
③ (c) → (d) → (a) → (b) ④ (d) → (a) → (b) → (c)
⑤ (d) → (c) → (b) → (a) ⑥ (c) → (b) → (a) → (d)
⑦ (b) → (a) → (d) → (c) ⑧ (a) → (d) → (c) → (b)

(25) 高校生のなおやさんは、ヨーロッパの文化史上の人物に興味をもち、調べた内容を表にまとめた。表中の①～⑤は、アリストテレス、トマス=アクィナス、エラスムス、カント、ワックス=ヴェーバーのいずれかである。表中の「なおやさんのまとめ」の内容が誤っている人物を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

| なおやさんが調べた人物 | なおやさんのまとめ |
|-------------|---|
| ① | 認識とは、理性が与えた形式で経験を理解することとして、理性を軸に経験論・合理論を総合した。そのうえで神の实在証明など認識の限界をこえた現象があるとし、批判哲学を展開した。 |
| ② | 16世紀最大の人文主義者として知られている。代表作『愚神礼賛』で、カトリックの腐敗を鋭く風刺し、宗教改革にも大きな影響を与えたが、自身は宗教改革に批判的で、ルターとも対立した。 |
| ③ | 客観的真理の存在を主張するソフィストを批判して、相対主義を説いた。対話を通じて、みずからの無知を知ること、ほかの無自覚な人よりすぐれることを自覚させる方法を実践した。「万学の祖」と呼ばれる彼の学問体系は、のちのイスラームの学問やヨーロッパ中世のスコラ学に大きな影響を与えた。 |
| ④ | 現代社会における官僚制の拡大傾向に警鐘をならした。また、著作『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で、合理的な近代資本主義とプロテスタントの宗教倫理の関係を論じた。 |
| ⑤ | 中世最大のスコラ学者として知られている。教父アウグスティヌス以来の信仰の超越性にアリストテレス哲学による理性を調和させ、スコラ学を大成した。 |



令和5年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
 第1次選考試験 高等学校 地理歴史(日本史・世界史)

| 問題番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|------|----|---|---|---|----|----|-----|---|---|----|
| 正解 | ②⑦ | ④ | ⑥ | ③ | ①③ | ⑤⑦ | ①③④ | ④ | ③ | ①⑦ |

| 問題番号 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 正解 | ①③ | ④ | ③⑥ | ④ | ⑤ | ② | ⑧ | ④⑤ | ③ | ②③ |

| 問題番号 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|------|----|-----|----|----|----|
| 正解 | ① | ①②④ | ③ | ⑦ | ③ |

